

センター爆破デッチアゲ弾圧粉碎

公判ニユース

爆取救援会

ことし かつなかいひやたつ がついけちまのり
 今年7月中井寿太郎と3月池内正憲がそれぞれ
 別件でパワラれ、3月に72月26日ありりん総合
 センター爆破の容疑で起訴され、その初公判が、
 6月10日大阪地裁20ノ号法廷で、午前十時より
 開かれた。

6月9日午後6時半より三角公園で「センター
 爆破デッチアゲ弾圧粉碎・大阪府警西成署糾弾
 大抗議集会」を催した。集会には、山谷現斗香や
 各支援戦線などの結集とアツピールがあり、釜ヶ崎
 の仲間からは鈴木組や関西建設などのデッチアゲ
 事件の報告があった。

6月10日午前10時半よりセンターに結集し11時
 地裁へとデモ出発した。午後1時よりの公判の傍
 聴には約110名結集した。

公判ではヘーデル(池内正憲)とタメヤン(中
 井寿太郎)両被告が始めに意見陳述を行なった。
 公判後、地裁前で集会を開き、釜に帰つて三角
 公園で総括集会を開いた。(裏面は意見陳述)

ばくとり 爆取デッチアゲ弾庄粉碎

(表面より)

★ヘーデルの意見陳述の内容。(池内正憲)

72年12月26日(センター爆破の日)は、約3回越冬斗争の最中であり、これは釜共斗の斗争の防害と爆破犯人を釜共斗に結びつける権力の意図である。これは釜共斗結成以来、鈴木組、岡西建設などであらわれたデッチアゲ弾庄の一連である。

★タメヤんの意見陳述の内容。(中井寿太郎)

デッチアゲに至る過程を陳述した。つまり、やはりとくなく爆破を、弱い環から煮められ、誘導尋問にかかり、自供し調書に至る過程を陳述した。そこでこの調書のデッチアゲ性を今後の公判でバクロし粉碎する、と宣言した。

次回公判7月18日に結集せよ

★保釈金カンパ送り先(銀行口座)

大和銀行野江支店・普通預金403614小林謙二

〈連絡先〉釜ヶ崎爆取救援会 0663722000 野島公

爆取救援連絡会議 0663722077